

## 令和3年度(2021年度)第1回経営戦略会議の概要

議 題	1. 経営戦略方針の進捗状況 2. コロナウィルスワクチンの接種推進 3. その他
日 時	令和3年(2021年)6月25日(金)10:00~11:00
場 所	豊中市役所 第一庁舎3階 第二応接室
出席者	市長、副市長、都市経営部長、総務部長、財務部長 経営改革専門委員(生駒委員、長内委員、小谷委員、高橋委員、 野田委員)

### <主な意見>

#### <1. 経営戦略方針の進捗状況>

- デジタル・ガバメントに向けた取組みについては、順調に進んでいる印象がある。今後も継続的に取り組んでいくべきである。
- デジタルの活用が「生産性・成果向上戦略」に位置付けられていることに違和感がある。まず、社会で求められているサービスが何か、ということから検討し、それを実現するための手段として、デジタル化が選択肢の一つになる。市民サービスの向上のための取組みとなるので、「共感・共創戦略」や「未来への投資戦略」に位置付けた方が良いのでは。
- デジタルの活用は、生産性向上につながる場合もあるが、逆に多様性が損なわれてしまうという可能性もあることを意識しておく必要がある。
- 高齢者には対面サービスに重点をおくなど、対象者によってデジタルの活用方法を使い分ける必要がある。
- 計画には各事業に指標が設定されているが、財務戦略を除いてそれらは各施策の進捗状況や目標達成を測定するものではない。たとえば、生産性向上という施策において、個々の事業目的を達成したところで、公務員の仕事の生産性の向上にどのように関係するかがわからず、計画に目標を設定している意義が不明瞭となっている。
- 市長が動画で直接メッセージを発信する取組みは評価できる。市民の安心につながると思う。双方向でやりとりができる仕組みがあればより効果があがるのでは。
- 男性の育児休業については、柔軟な制度運用を進めながら、100%を目標に取り組んでほしい。
- 南部地域の義務教育学校では、ぜひICT教育に力を入れてほしい。近隣にある大阪大学と連携してはどうか。オンラインを活用すれば、遠隔の学校とも

様々な資源を共有することができる。

- ✿ SDGs の観点を積極的に取り入れた教育を展開するべき。

## <2. コロナウィルスワクチンの接種推進>

- ✿ 若年層はSNSで発信されている偽の情報を信じてしまう傾向が強い。そのため、積極的に正しい情報提供を発信する必要がある。
- ✿ ワクチンを接種することで、集団免疫が獲得され、制約されていた行動の安全性が高まり、行動できる可能性が増加する。そうしたワクチン接種のメリットを積極的に発信してはどうか。
- ✿ ワクチンに関する情報発信については、世代ごとに異なるアプローチが必要。若い世代にはSNSを活用したアプローチが有効である。
- ✿ 若い世代にSNSが即座に有効というわけではない。若い世代がそもそも市政に関心がなかったり、シルバーデモクラシーに不満を抱いている現状を理解して、市政に関心を示してもらえるように働きかけることが必要。
- ✿ 豊中市のワクチン接種情報を多言語で発信する取り組みは、他市ではあまり進んでいないのではないかと。素晴らしい取り組みだと思う。

## <3. その他>

- ✿ SDGs の観点から、非課税世帯を対象とした支援を展開することで、社会全体の幸せにつながる、ということを発信できれば良いと思う。
- ✿ 行政の組織は、福祉や健康、教育など、機能ごとに編成されているが、世代や所得層に応じた支援策を検討するため、市民の属性に応じた横串の組織編成を検討してはどうか。プロジェクトチームなどで設置することも有効だと思う。
- ✿ 新型コロナウイルスはあらゆる世帯、普段から真面目にしっかり税金を納めてくれている世帯にも負の影響を及ぼしている。さまざまな援助や手当がもらえないそうした世帯も、実情は質素な生活水準であり、苦しいのが現状である。特定世帯をこれ以上優遇し、それ以外の世帯へのしわ寄せが大きくなることは避けないと、担税力のある世帯が他市へ流出してしまう恐れがある。